

御 中

公共建築 工事標準仕様書・改修工事標準仕様書(建築工事編) 対応仕様

適 用：水性 クリヤラッカー塗り(CL)相当
材 料：もくぬへる 水性内装用カーステイン 各色 (F☆☆☆☆登録品:G01415)
もくぬへる 水性サンジングシーラー (F☆☆☆☆登録品:G01410)
もくぬへる 水性クリヤー・フラット 各ツヤ (F☆☆☆☆登録品:G01411)
施工箇所：内装木部

工 程		種 別		塗 料 そ の 他	塗付け量 (kg/㎡)	乾燥時間 (20℃)
		A種	B種			
新設:素地ごしらえ		○ (注)1		18.2.2 木部の素地ごしらえ による。	—	—
改修:下地調整				7.2.2 木部の下地調整 による。		
1	着色 (注)2	○	—	水性内装用カーステイン 各色 S4-****	0.03～0.05 (必要に応じて 拭き取り)	3時間以上
2	毛羽取り研磨 (拭き取り時は不要)	○	—	研磨紙 P320～400	—	—
3	下 塗 り	○	○	水性サンジングシーラー SS-50	0.10	3時間以上
4	研磨紙ずり	○	○	研磨紙 P220～240	—	—
5	中 塗 り	○	○	水性サンジングシーラー SS-50	0.10	3時間以上
6	研磨紙ずり	○	○	研磨紙 P220～240	—	—
7	上 塗 り (1回目)	○	○	水性クリヤー・フラット 各ツヤ SC-25-**	0.10	6時間以上
8	研磨紙ずり	○	—	研磨紙 P240～320	—	—
9	上 塗 り (2回目)	○	—	水性クリヤー・フラット 各ツヤ SC-25-**	0.10	6時間以上

- (注) 1. 素地ごしらえ、下地調整の種別は、塗料その他の欄による。
2. A種の場合、工程1の適用及び着色に用いる塗料の種類は、特記による。
3. 改修時、新規に塗装する場合は、7.2.2 木部の下地調整に代えて、素地ごしらえを 7.3.2 により行う。

注記

- 本仕様は、公共建築工事標準仕様書(令和7年版) 及び、公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版) に基づいた仕様です。
- 上記塗付け量は公共建築工事標準仕様書(令和7年版) 及び、公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版) のクリヤラッカー塗り(CL)の塗付け量です。その為、カタログ値とは異なります。着色工程は塗付け量の記載がない為、当社標準塗付け量となります。
- 改修時、既存塗膜があり着色工程を適用する場合、または、旧塗膜が他種塗料の場合は表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)を適用して下さい。
- 公共建築工事標準仕様書(令和7年版) 及び、公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版) は目止め工程が適用されていますが、弊社仕様では省略しています。(目止め工程に該当する製品はございません。)
- 水性内装用カーステイン、水性サンジングシーラーは原液でご使用下さい。水性クリヤー・フラットは水で適宜希釈下さい。
- 使用前に中身が均一になる様に攪拌棒等で十分に攪拌してからご使用下さい。
- 乾燥時間は、塗布量・材種・天候(気温・湿度)により異なります。(上記の乾燥時間は、気温20℃、湿度60%、木材含水率18%以下の条件下のものです。)
- 乾燥時間や塗り重ね可能時間は温度や湿度等の条件により異なります。
- 塗布量が多すぎたり、乾燥が不十分な状態で重ね塗りを行うと乾燥不良、塗膜異常等の原因になります。(塗布量は素材の状態によって大きく変わります。ご注意下さい。)
- 材種によって塗装後の色感が異なります。必ず試し塗りを行ってからご使用下さい。
- 水性内装用カーステインの色濃度はカラレスで調整して下さい。水等で調整すると十分な塗膜性能が発揮できなくなる恐れがあります。
- 5℃以下の低温時や多湿時の塗装は乾燥不良を起こす可能性があるため避けて下さい。
- ヤニや油分が多い木材に塗装する場合、表面のヤニや油分を取り除いてから施工して下さい。
- 刷毛塗りにはナイロン刷毛等の水性塗料用の刷毛をご使用下さい。
- その他の注意点につきましてはカタログ、容器の注意書き、安全データシート(SDS)もご確認下さい。

以 上